

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月27日

上場会社名 株式会社 キムラ

上場取引所 東

コード番号 7461 URL <http://www.kimuranet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 新榮 功明

TEL 011-721-4311

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,565	4.2	1,612	22.4	1,592	23.2	727	23.5
25年3月期第3四半期	21,660	△0.0	1,317	8.2	1,292	10.8	588	24.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 997百万円 (27.2%) 25年3月期第3四半期 784百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	49.02	—
25年3月期第3四半期	39.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,586	9,495	45.7
25年3月期	17,806	8,646	41.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,041百万円 25年3月期 7,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,080	3.2	1,480	8.8	1,435	8.5	680	12.2	45.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,180,000 株	25年3月期	15,180,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	346,223 株	25年3月期	343,692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	14,834,905 株	25年3月期3Q	14,836,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・ 3

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・ 3
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・ 3
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・ 3

3. 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・・・・ 8
(セグメント情報等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の財政問題、欧州政府債務問題の長期化や新興国の経済成長の減速等、引き続き海外経済の不確実性は残るものの、政府による経済政策や大規模な金融緩和策を受けて、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られる等、緩やかな回復基調で推移しております。

このような状況における当社グループの業績は、卸売事業においては、政府による住宅取得支援策などの効果により、新設住宅着工戸数が15ヶ月連続で前年実績を超える状況となるなど、リーマンショックを受けた平成21年度以降、住宅市場は緩やかな持ち直しの傾向が続いている影響により、当初の業績計画を上回る状況で推移しております。

小売事業では、各店舗の近隣地域において同業他社の大型店舗オープンが続いており、市場環境としては厳しい状況となっておりますが、他店の販売攻勢に惑わされることなく多くのお客様に満足し、リピート来店していただける為のサービス向上と品揃えの徹底を継続的に実践しております。また、全社的な経費削減活動の効果も見られております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高225億65百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益16億12百万円（同22.4%増）、経常利益15億92百万円（同23.2%増）、四半期純利益7億27百万円（同23.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

新設住宅着工戸数が堅調に推移する中、営業基本戦略としてのエリア、販売店、工務店に対するターゲットを絞った提案型営業と、商品戦略としての重点および育成商品と輸入資材を含めたオリジナルブランドであるアルミック商材の徹底した深耕営業を実践してきた結果、売上高91億68百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益8億56百万円（同11.7%増）となりました。

(小売事業)

春先の低温、天候不順や大型競合店の出店などのマイナス要因はありましたが、商品のディスプレイ方法の工夫などの積極的な売場展開や仕入先とタイアップしたセールの実施を行ってきたことと、全社的な経費削減活動を継続してきた結果、売上高は127億90百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は8億10百万円（同26.9%増）となりました。

(不動産事業)

賃貸資産の運用により、売上高1億50百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益1億円（同3.1%増）となりました。

(足場レンタル事業)

新築需要、リフォーム需要が共に堅調に推移する中、施工班および保有資材をフル稼働させる状況が続いたことから、売上高は4億55百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は76百万円（同46.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は175億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億20百万円の減少となりました。これは主に、売掛債権の増加があったものの、現金及び預金が9億93百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は80億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億68百万円減少しております。これは主に、仕入債務の増加はありましたが、短期借入金12億22百万円、長期借入金5億32百万円の減少があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は94億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億48百万円増加しております。1株当たりの純資産は542円12銭となり、前連結会計年度末に比べて42円33銭増加しております。なお、自己資本比率は45.7%（前連結会計年度末は41.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成25年10月25日付「平成26年3月期第2四半期決算短信」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,727,853	1,734,197
受取手形及び売掛金	1,541,443	2,378,638
商品	2,270,775	2,572,817
販売用不動産	164,160	158,172
その他	313,528	327,257
貸倒引当金	4,759	7,080
流動資産合計	7,013,001	7,164,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,889,604	4,624,840
土地	2,405,789	2,405,789
その他(純額)	2,170,889	2,118,621
有形固定資産合計	9,466,284	9,149,251
無形固定資産	12,413	12,934
投資その他の資産		
その他	1,330,427	1,267,418
貸倒引当金	15,322	7,103
投資その他の資産合計	1,315,104	1,260,315
固定資産合計	10,793,802	10,422,501
資産合計	17,806,803	17,586,506
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,739,925	2,833,869
短期借入金	2,460,000	1,238,000
未払法人税等	392,152	345,041
賞与引当金	99,500	106,386
その他	608,529	615,301
流動負債合計	5,300,107	5,138,599
固定負債		
長期借入金	2,385,000	1,852,500
退職給付引当金	258,291	247,820
役員退職慰労引当金	326,985	37,730
資産除去債務	224,408	227,807
その他	665,134	586,472
固定負債合計	3,859,819	2,952,330
負債合計	9,159,927	8,090,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	5,729,069	6,307,913
自己株式	131,764	132,582
株主資本合計	7,225,154	7,803,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,346	112,727
繰延ヘッジ損益	2,328	1,171
土地再評価差額金	126,906	126,906
その他の包括利益累計額合計	189,925	238,462
少数株主持分	1,231,797	1,453,933
純資産合計	8,646,876	9,495,576
負債純資産合計	17,806,803	17,586,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,660,280	22,565,309
売上原価	16,427,277	17,132,682
売上総利益	5,233,002	5,432,626
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,610,900	1,568,141
賞与引当金繰入額	94,746	106,386
退職給付費用	25,186	22,560
貸倒引当金繰入額	-	1,800
その他	2,185,112	2,121,554
販売費及び一般管理費合計	3,915,945	3,820,441
営業利益	1,317,057	1,612,184
営業外収益		
受取利息	505	485
仕入割引	61,370	68,223
デリバティブ評価益	8,337	-
貸倒引当金戻入額	8,214	-
その他	21,312	32,738
営業外収益合計	99,739	101,447
営業外費用		
支払利息	64,375	45,284
売上割引	52,728	57,080
デリバティブ評価損	-	9,423
その他	6,982	9,483
営業外費用合計	124,086	121,272
経常利益	1,292,710	1,592,359
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	20,000
保険解約返戻金	21,785	-
受取補償金	18,802	-
特別利益合計	40,587	20,000
特別損失		
固定資産除売却損	2,727	3,511
特別損失合計	2,727	3,511
税金等調整前四半期純利益	1,330,570	1,608,847
法人税、住民税及び事業税	617,440	581,147
法人税等調整額	41,837	79,544
法人税等合計	575,603	660,692
少数株主損益調整前四半期純利益	754,967	948,155
少数株主利益	166,246	220,947
四半期純利益	588,720	727,207

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	754,967	948,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,755	47,458
繰延ヘッジ損益	2,779	2,267
その他の包括利益合計	29,535	49,726
四半期包括利益	784,502	997,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616,974	775,745
少数株主に係る四半期包括利益	167,527	222,136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,336,536	12,753,367	177,879	392,496	21,660,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	516,272	8,220	18,008	—	542,500
計	8,852,808	12,761,587	195,887	392,496	22,202,780
セグメント利益	766,808	638,930	97,388	52,171	1,555,298

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,555,298
セグメント間取引消去	△2,200
全社費用(注)	△236,040
四半期連結損益計算書の営業利益	1,317,057

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	9,168,219	12,790,699	150,896	455,493	22,565,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	495,564	7,205	16,992	—	519,761
計	9,663,784	12,797,904	167,888	455,493	23,085,070
セグメント利益	856,663	810,872	100,449	76,163	1,844,148

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,844,148
セグメント間取引消去	2,940
全社費用(注)	△234,904
四半期連結損益計算書の営業利益	1,612,184

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。